

氷河時代の生き残り、エゾゼミを観察しよう

実施報告書

平成 23 年 8 月 24 日

NPO 法人こどもとむしの会

目的

六甲山を特徴づける昆虫の一つである「エゾゼミ」を現地で観察することにより、六甲山の生物多様性を効果的に普及啓発するとともに、夏休みの自由研究等、児童の環境学習に資することを目的として実施する。

プログラムのデザインおよび広報

1. プログラムのデザイン

1) 日時

2012年（平成24年）8月11日（土）13:00～16:00

2) 会場

兵庫県立六甲山自然保護センターおよびその周辺

3) 対象・定員

小学生とその保護者・50名

4) 主な内容

講義と野外観察。ゲーム的要素を取り入れた「ぬけがらさがしペナントレース」を含む。

5) スタッフ

会員8名に加え、学生2名の10名で対応した。

（正会員）岡本俊治、金子留美子、片岡義方、齋藤泰彦、八木 剛、宮武頼夫

（学生会員）前田 慈、森野光太郎

（実習生）服部選樹、吉田紀亜

2. 広報

2012年6月11日、NPO法人こどもとむしの会メール会員（約200名）に、実施予告のアナウンスを行った。

2012年7月6日、NPO法人こどもとむしの会オフィシャルブログ上で、告知を開始した。メール会員へのアナウンスは行わなかった。

2012年7月19日、兵庫県立人と自然の博物館に、チラシを設置した。

2011年7月30日、NPO法人こどもとむしの会メール会員（約200名）に、追加募集のアナウンスを行った。

6月上旬に神戸県民局によって「県民だより」誌上での告知が行われた。

2011年8月2日、全申込者に、電子メールおよびFAXで受講案内を送付した。

結果

1. 申込者および参加者

1) 人数

28組（世帯）76名からの申込があり、24組64名の参加があった。事前連絡によるキャンセルが2組7名、無連絡による欠席が2組5名であった。

その他、六甲山自然保護センター運営委員2名、兵庫県神戸県民局職員1名の視察があった。

2) 年齢層

申込者76名の内訳は、保護者（祖父母含む）36名、中学1年生1名、不明者1名を除く38名が小学生であった。小学1年生、2年生が10名ずつと最多で、児童生徒の過半数を占めた（内訳下表）。幼児の同伴は見られなかった。

学年等	申込人数
小1	10
小2	10
小3	6
小4	4
小5	5
小6	3
中1	1
不明	1
保護者	36
合計	76

3) 居住地

申込者28組は、大半が神戸市居住者であったが、その他も20%ほどあった（内訳下表）。

府県	市	区	申込組数
兵庫県	神戸市	東灘区	7
		灘区	4
		北区	4
		垂水区	4
		須磨区	2
		西区	1
		兵庫区	1
	明石市		1
	尼崎市		1

	西宮市	1
	姫路市	1
大阪府	茨木市	1
	枚方市	1
	合計	28

垂水区の1組には、千葉県柏市在住の帰省者を含む。

2. 当日の実施内容

1) 天候

曇りのち晴れ。風は弱く、セミの観察に好適であった。

2) 実施内容の概況

13:00 から 13:30 エゾゼミおよびセミに関する講義 講師：宮武頼夫（元大阪市立自然史博物館長・橿原市昆虫館友の会会長）

セミの垂直分布、冷涼な気候に見られるエゾゼミ属数種の紹介、温暖化による気温上昇に伴うエゾゼミの分布域縮小の可能性等の話題があった。また、抜け殻による雌雄や類似種の区別について、配布資料も用いて説明がなされた。

13:30 から 15:00 セミの観察およびぬけがら採集 案内：NPO 法人こどもとむしの会正会員および学生会員（7名）と、講師の宮武頼夫氏。

2班に分かれて別ルート（図）を歩いた。いずれも歩行距離は1km強。ルート1は舗装路であることから1、2年生児童を含む家族に推奨し、ルート2は登山道を歩くことから3年生以上を推奨した。班分けは、この説明後、参加者による主体的な選択とした。当



初計画では、「ぬけがらさがしペナントレース」を最初に行い、以後、成虫の観察を行う予定であったが、自然保護センター周辺ではぬけがらが発見しにくかったことから、成虫観察コースにおいて、ぬけがらの採集も同時に行うこととした。

15:00 から 15:30 「ぬけがらさがしペナントレース」スコア集計 指導：NPO 法人こどもとむしの会正会員および学生会員（7名）と、講師の宮武頼夫氏。

配布資料を見ながら、採集したセミのぬけがらの種を同定し、種ごとの個体数を記入し、

採集した種数と個体数の積をポイントとした。得られたぬけがらの多くはヒグラシで、つぎにエゾゼミ、アブラゼミの順であった。

15:30 から 16:00 成績発表と質疑応答

「ぬけがらさがしペナントレース」で 100 ポイント以上の家族が 7 組あり、NPO 法人こどもとむしの会オリジナルのノートをプレゼントした。最高は 180 ポイント（2 種×90 個体）であった。

16:00 解散

3) 観察された種

7 種のセミが観察された。参加者が集めたぬけがらの合計は 616 個であった。

種名	成虫	ぬけがらさがしペナントレースの集計
エゾゼミ	+++	36
ヒグラシ	++	546
アブラゼミ	+++	33
ミンミンゼミ	++	
クマゼミ	+	
ニイニイゼミ		1
チッチゼミ	+	

記号はおよその個体数を示す。+：数個体、++：10 個体以上、+++：2、30 個体以上。

クマゼミ、チッチゼミは、鳴き声のみ。

事業終了後のフォロー

2011 年 8 月 17 日、NPO 法人こどもとむしの会オフィシャルブログに、当日の状況を公表した。

<http://konchukan1.exblog.jp/16431410/>

2011 年 8 月 19 日、YouTube の NPO 法人こどもとむしの会のチャンネルに、当日の状況を公表した。

<http://www.youtube.com/konchukan#p/a/u/0/tTD3j7x7IJg>

2011 年 8 月 19 日、当日参加者に電子メールにて上記 URL を伝達した。

2011 年 8 月 24 日、実施結果の要約ポスター（PDF ファイル：県提出分と同じ）を、ホームページ上からダウンロードできるようにした（ブログ記事からのリンク）

以上